

# 令和2年度 自己評価結果公表

社会福祉法人 明和福祉会  
幼保連携型認定こども園 和泉愛児園

## ●本園の理念・方針

### 基本理念

## 正道明和

すべての子どもが権利を保障(正道)され、  
幸福である社会(明和)を目指し、児童福祉に貢献します。

### 教育・保育理念 (柱)

- (正道)
- ・良い環境のもと、伸び伸び遊べる子ども
  - ・自ら気づき、進んで表現できる子ども
  - ・創造的で豊かな心を持った子ども
- (明和)
- ・心身ともにたくましく明るい子ども
  - ・みんなのために喜んで手伝える子ども
  - ・友だちを大切に、仲良くできる子ども

### 教育・保育方針

- ・教育 こどもの意欲を育てる
- ・保育 こどもの生きる力が育つ
- ・養護 こどもの楽しいがみつかる

### 赤十字精神

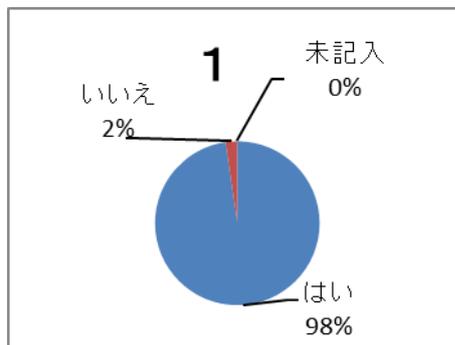
気づき・考え・実行する

令和2年度は『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』をもとに、「育みたい3つの資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について重点的に確認し、自己評価を行いました。

## 1. 子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身に付け、新たな能力を獲得していく

過程であることを理解していますか

- ◎はい 98%
- ◎いいえ 2%
- ◎未記入 0%

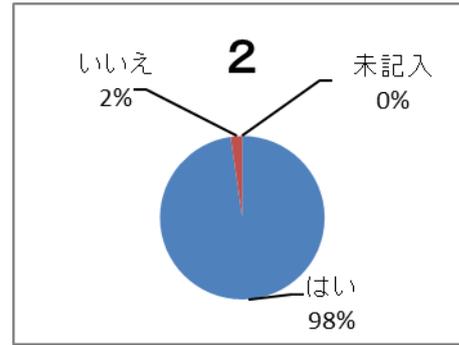


### 取り組み

- ・年間の季節行事、地域との交流、自然に恵まれ豊かな人的、物的環境にある。
- ・愛情をもってかわいがられる経験や一人ひとりに寄り添った保育を行っている。
- ・たてわりの中で思いやりや優しい心を学ぶ。
- ・伸び伸びと楽しんで意欲的に活動する力を学ぶ。
- ・様々な事に興味をもち、やりたいと思えることを提供している。
- ・挨拶や身支度などの大切さを伝え、身につけられるようにしていく。

## 2. 子どもの発達の特長や発達過程を理解し、発達の連続性に配慮して保育していますか

- ◎はい 98%
- ◎いいえ 2%
- ◎未記入 0%



### 課題

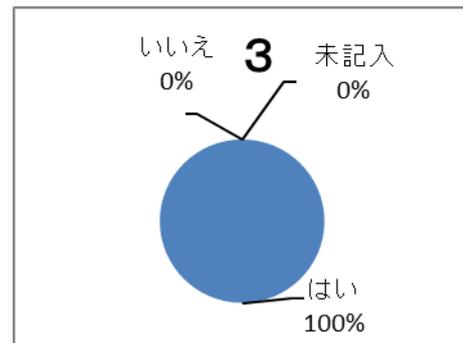
- ・連続性の配慮に欠けている。
- ・学年ごとの接続がやや弱く感じる。

### 取り組み

- ・一人ひとりの成長発達に合わせたクラス内の月齢別保育を行っている。
- ・発達の姿を理解し、一人ひとりの成長特性に応じた保育を行っている。
- ・発達は前後することもあると念頭に置いて臨機応変に対応している。
- ・子どもが無理をしない保育の展開を行っている。

## 3. 発達過程は、同年齢の均一的な発達の基準ではなく、一人一人の子どもの発達として捉えようとしていますか

- ◎はい 100%
- ◎いいえ 0%
- ◎未記入 0%

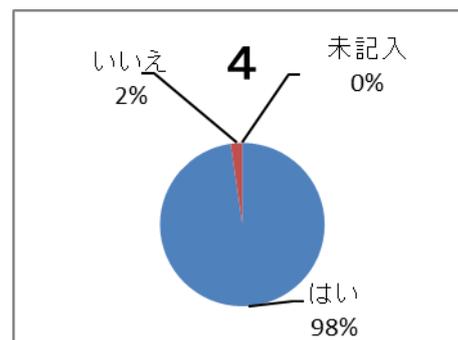


### 取り組み

- ・発達には個人差が大いにある事を理解して接している。
- ・クラス内でグループ分けを行い、一人ひとりの発達に応じて保育を行っている。
- ・一人ひとりのペース、できることを大切にしていく。
- ・育ちを大切に、個性を重んじ、決して人格を否定せず守り育てる。
- ・家庭での様子を共有し、家庭と密になり育ちを進める。
- ・全員が同じようにできなくても、その子の目標を決めて取り組んでいく。

## 4. あなたは、子どもの生活や遊びを共にするなかで、一人一人の心身の状態を把握していますか

- ◎はい 98%
- ◎いいえ 2%
- ◎未記入 0%



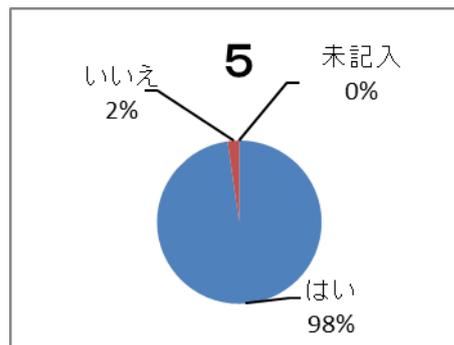
## 取り組み

- ・ノートや口頭で家庭とのやり取りを大切にして、子、親とも信頼関係を築いていく。
- ・一人ひとりの思いや考えに寄り添い保育していく。
- ・遊びや生活の中で子どもの会話や行動をよく見る。
- ・保育者間で情報交換をして、一人ひとりの状態を把握する。
- ・子どもの変化が見られた時は職員間で共有しながら、時には看護師に助言をもらう。

## 5. 子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、保育していますか

そのためにどのようなことをしていますか

- ◎はい 98%
- ◎いいえ 2%
- ◎未記入 0%

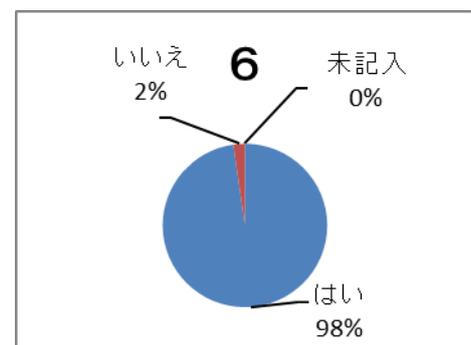


## 取り組み

- ・「正道明和」そのもの。
- ・子どもの名前を呼び捨てにしない。
- ・丁寧に見守り、決して他の子と比べず、その子の人権を侵害しないようにする。
- ・少しの成長も見逃さず、自信につながられるようにする。
- ・できる、できないは人それぞれ違うのでその子に合った目標を立てる。
- ・「やりたい」と思う気持ちを尊重する。
- ・毎日成長しているという事を常に頭に入れて保育する。
- ・部屋だけではない安心できる場所を確保する。

## 6. 子どもの様々な環境と相互作用により発達していくことを、理解していますか

- ◎はい 98%
- ◎いいえ 2%
- ◎未記入 0%

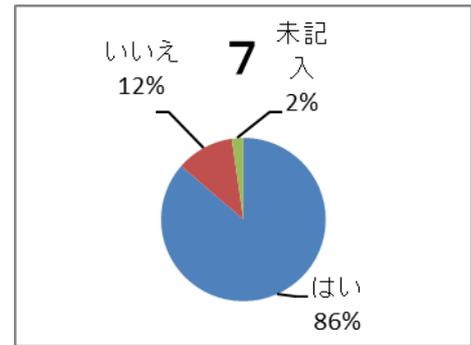


## 取り組み

- ・生活の中や日々の生活そのものを大切に保育している。
- ・年齢発達に合った環境を用意している(部屋の設定等)。
- ・保育者自身が見本となるよう努力している。
- ・縦割り保育などクラス活動の使い分け。
- ・様々な用具を使って自由に遊ぶ。
- ・地域交流(NAC慰問等も含め)。
- ・年間行事での経験。
- ・さんぽ、園外活動の経験。

## 7. 子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか

◎はい	86%
◎いいえ	12%
◎未記入	2%



### 課題

- ・コーナーなどの工夫をすべきだが現状できていない。
- ・“主体的”というよりは援助してしまっている。
- ・もう少し自由時間があっても良いのでは
- ・場所の使い方の工夫が必要
- ・遊びの充実を図る。

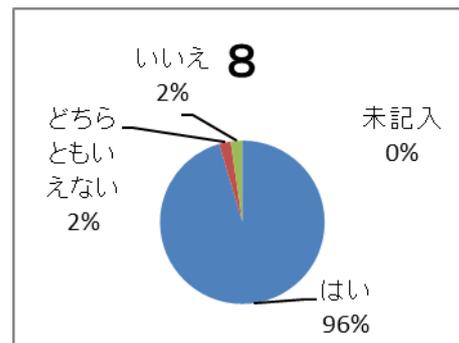
### 取り組み

- ・年齢に合った遊びや製作を行っている。
- ・興味はそれぞれなので様々な環境を用意し、好きな遊びを選べるコーナー等、用意している。
- ・子どもの発見や気づきに一緒に考え、感動する。
- ・子どものやりたい事を聞きながら強制することのないよう保育に取り入れる。
- ・自然に興味を持てるよう散歩の場所など考えている。(秋にはどんぐり拾いなど)
- ・野菜を育てたり、老人クラブの畑に行くなど食育活動から食へ興味をもつ。
- ・のびのびと遊び、自分自身も楽しいと感じられるものを用意していく。
- ・園庭やプレイルームの充実。

## 8. あなた自身が、子ども同士の関係の基礎となる様に、一人一人の子どもと信頼関係を構築していますか

そのためにどのような事をしていますか

◎はい	96%
◎いいえ	2%
◎どちらともいえない	2%
◎未記入	0%

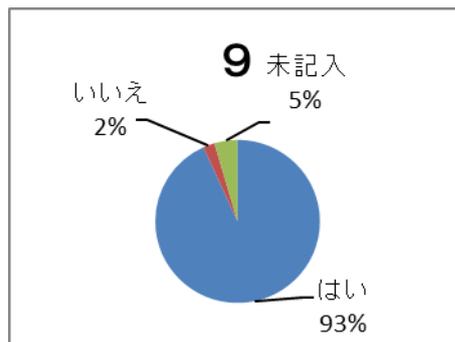


### 取り組み

- ・思いやりを持って接する言葉かけをしている。
- ・できたこと頑張ったことを言葉にして丁寧に知らせるようにしている。
- ・スキンシップを大切に思い切り甘えられる環境づくりを行っている。
- ・ひとりひとりを認めた保育を行っている。
- ・優しい言葉かけで愛情を持って関わっていく。
- ・明るく笑顔を大切に接する。

9. 心身の発達の個人差を理解するために、一人一人の生理的、身体的な諸事情や生育環境の違いを把握していますか

◎はい	93%
◎いいえ	2%
◎どちらともいえない	0%
◎未記入	5%

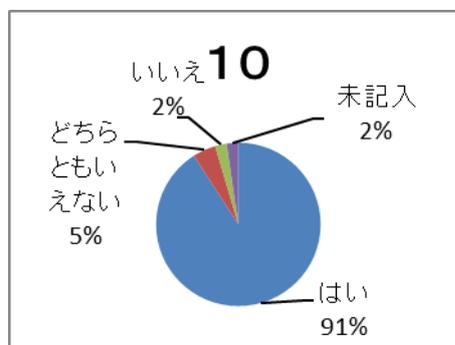


**取り組み**

- ・家庭環境調査票、入園前の聞き取り等で家庭からの様子を把握し職員間で話し合いを通して把握するようにしている。
- ・毎日の送迎時の保護者との会話、または連絡ノートなどでコミュニケーションを取りながら 日々のこどもの様子などを確認していく。
- ・会議での共通理解。
- ・年度の切り替えで、職員間での引継ぎをしっかりとるようにしている。
- ・懇談会、個別懇談 など保護者の思いなどを聞き取る。

10. 仲間との環境の中で「個」の成長も促すことを意識して、遊びが展開されるように配慮していますか

◎はい	91%
◎いいえ	2%
◎どちらともいえない	5%
◎未記入	2%

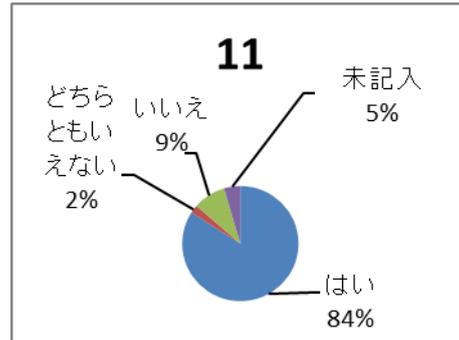


**取り組み**

- ・行事を詰め込むことのないようなプログラムを考えている。
- ・運動会、発表会などの行事の中で、自分を表現できる場を作っている。
- ・言葉で上手に表現できないときは、言葉にして気持ちを受け止められるようにしている。
- ・集団遊び、ルールのある遊びの経験を無理なく進める。
- ・プレイリーダーとなり、遊びの展開を提供する。
- ・たくさんの遊びの中で、遊びを自分で選びじっくり遊べるように考慮する。
- ・個の成長を常に意識している。

## 11 豊かな感性と共に好奇心、探求心や思考力が養われるよう保育を工夫していますか

◎はい	84%
◎いいえ	9%
◎どちらともいえない	2%
◎未記入	5%



### 課題

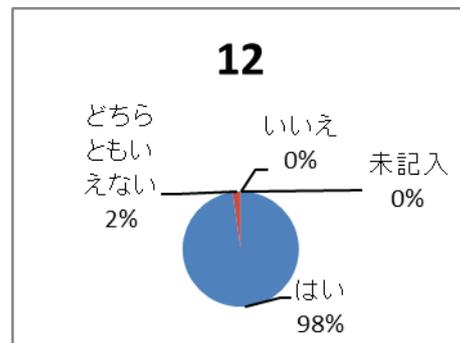
- ・工夫しようとする気持ちと環境設定など具体的な保育の中で工夫しきれていない。
- ・地域との関わり、自然の中で自由に遊ぶ(山登り)など現場が難しくなりつつあるのも現実。

### 取り組み

- ・不思議に思ったこと質問などを一緒に考えたり、子どもの「なぜ?」「なに?」に答えられるように答えを導き出すようにしている。
- ・様々な経験・体験をし、子ども自身が気付けるように保育を行っていく。
- ・毎日の保育の中にあるちょっとした発見を一緒に楽しむ。
- ・子どもの感性を大切にし、気づきや発見を認め、好奇心へとつなげるような声かけを行っている。
- ・自然とのふれあい、散歩、廃材遊びなど同じ玩具、遊具でも様々な遊びに展開できるように見本を見せたり、いつもした事のないもので好奇心を育む保育の工夫を行っている。
- ・子ども「やってみたい」を大切にし、自由に行える環境作りを行っている。
- ・すべての答えを出したり、決めたりせず、子ども達が自由に考える場を提供している。
- ・身近にいる保育者が一番の環境となるよう心がけている。

## 12 子どもが、興味関心をもったものに対して自分から関わろうとしている姿を、誉めたり、励ましたりしていますか

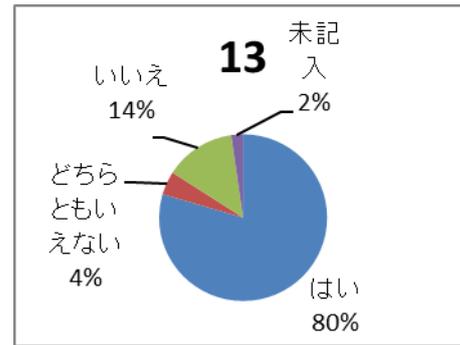
◎はい	98%
◎いいえ	0%
◎どちらともいえない	2%
◎未記入	0%



- ・気持ちをしっかり受け止め意欲を引き出す言葉かけをしていく。
- ・やろうとする姿勢を見守り、その場に応じて必要な言葉かけをしている。
- ・些細な子どもの姿を見逃さないよう観察して保育者間で共有していく。
- ・一緒に楽しみ喜びあう。
- ・後ではなく、その場で褒めたり励ますなど適切に対応していく。

**13 発達の気になる子どもや障害のある子どもに対しても、子ども自身の力を認め、適切な援助及び環境構成を行っていますか**

◎はい	80%
◎いいえ	14%
◎どちらともいえない	4%
◎未記入	2%



**課題**

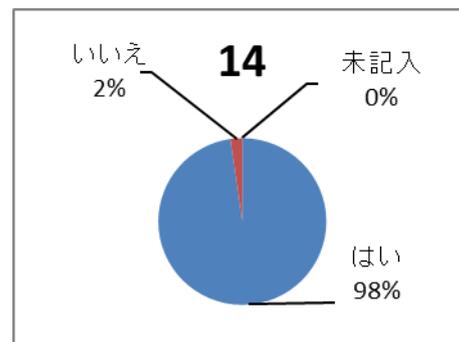
- ・取り組みとしては園で行っているが、生活面において力の入れ方が不十分に感じる。
- ・勉強不足、知識がらず子どもが困らない適切な援助ができているか不安。知識、技量が課題。
- ・色々な大人の協力が必要なのでみんなで関わり方を検討する必要がある。
- ・集団の中で危険個所の保護、発達にあった部屋での生活、困った時にいられる部屋など環境構成が必要。

**取り組み**

- ・外部の専門機関と連携をとり、助言を得ながら援助を行っている。
- ・他機関、家庭、園で次の目標につなげている。
- ・一人ひとりに個性があることを理解し、見守りや援助を行う。
- ・園に来て楽しい、得意を伸ばせる関わり、環境構成を行っている。
- ・早期発見、早期支援。

**14 園の生活になじみにくい子に対しても、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか**

◎はい	98%
◎いいえ	2%
◎どちらともいえない	0%
◎未記入	0%



**課題**

- ・発達が気になるこどもで新しい環境になじみにくい場合、そのような子どもへの知識、技術が乏しいので、研修等でもっと学んでいきたい。

**取り組み**

- ・慣れるまで同じ保育者が対応し、好む遊びなどを知り対応していく。
- ・保護者と連携を取り、信頼関係を作り、一緒に考えていく。
- ・丁寧に関わっていき無理せず過ごせるようにしていく。

- ・その子の落ち着ける場所、安心できる場所をみつけていく。  
またはそのような環境を設定する。
- ・ペア(たてわり)を通して、子ども同士での関係からなじんでいく場合も多いので見守り、必要な言葉かけなどをしていく。
- ・ゆったりと友達と関われるような配慮をしている。
- ・子どもの特性によっては、連携機関に相談するなど考えていく。  
またそのような子どもに対しては、特にその子に合った対応を会議などを通して職員全員で周知するようにしている。

以上の通り報告致します。

令和3年3月31日  
幼保連携型認定こども園 和泉愛児園  
園長 梶原 智子